

令和6年度第1回伊勢市子ども家庭支援ネットワーク委員会議 議事録

日 時 令和6年5月30日（木）午後1時30分～

場 所 伊勢市健康福祉ステーション7階 会議室1・多目的ルーム

出席委員 辻村委員、竹澤委員、奥田委員、山路委員、秋山委員、鎌田委員、田口委員、
前田委員、中村委員、小林委員、岡村委員、岡本委員、内田委員、城委員、
濱地委員、樋口委員、奥野委員、村井委員、中川委員

欠席委員 久保田委員、竹内委員、中村委員、加藤委員、志賀委員

事 務 局 健康福祉部理事、参事、福祉総合支援センター主幹、こども家庭相談係長、教育
研究研修係長 ほか4名

議 題 議案第1号 会長・副会長選任（案）について
議案第2号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク令和5年度活動実績について
議案第3号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク令和6年度活動計画（案）につ
いて
その他

1 はじめに

【事務局】

開催挨拶、欠席委員報告（会議成立の報告）、委員自己紹介、事務局職員紹介

2 報告・協議事項

議案第1号 会長・副会長選任（案）について

【事務局】

議案第1号について説明

会長・副会長選任、会長・副会長挨拶

議案第2号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク 令和5年度活動実績について

【事務局】

議案第2号について報告

【委員からの主な意見】

- ・保護者が相談できたり、子どもが訴えやSOSを出せているうちに丁寧に対応することや、早期から幅広い関係機関が介入することが重要である。
- ・虐待で深く傷ついた子ども達のなかには、インターネットの世界のなかの繋がりに依存してしまう子どももあり、そういった子ども達との関係づくりや心の回復には時間がかかり難しい。そのため、虐待の形ではない子育てができるよう保護者を支援することが大事

である。

- ・子どもの権利にも関係するが、子ども自身が助けてと言えるような啓発が必要である。
- ・児童本人からの相談が増えている背景には、LINE や 189 相談専用電話など、いろいろな方法で相談できるようになったことが関連しているのではないかと考える。
- ・施設等から家庭に戻る場合、地域と連携して途切れない支援を入れていくことや、児童が入所している間の保護者への啓発が強く機能しなければならない。

議案第 3 号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク 令和 6 年度活動計画（案）について

【事務局】

議案第 2 号について報告

【委員からの主な意見】

伊勢市子ども家庭支援ネットワーク活動計画についての確認

その他

【事務局】

- ・児童福祉法等の一部を改正する法律の概要について説明（市町関連部分について伊勢市、都道府県に関する部分について児童相談所）
- ・市の実施しているいじめ報告相談アプリの実施時間についての質問